

「穂波中学校」校章デザイン作成・募集要項

1. 募集内容

令和10年4月、村上市岩船・神林地域の「岩船中学校」「神林中学校」の2校が統合し、新たに「穂波中学校」が開校します。「穂波中学校」にふさわしい校章を決定するため、校章デザインを募集します。

2. 募集期間

令和8年10月1日（木）から令和8年11月30日（月）まで ※必着

3. 応募資格

市内外問わず、どなたでも応募できます。※ただし、未成年の応募にあたっては親権者の同意を必要とする。

4. デザインテーマ

校名である「穂波中学校」に込められた想いや目指す姿を表現した校章デザインとしてください。

校名に込められた想い

「穂波」という言葉には、二つの地域の美しい風景が凝縮されています。

「穂」 秋になると神林地域一面に広がる、黄金色に輝く豊かな田園の稲穂。

「波」 夕日にきらめき、岩船の港や海岸線に打ち寄せる日本海の波。

村上市民憲章にも「稲穂わたる風」「夕日きらめく波」と綴られているように、私たちが誇りとする「ふるさとの情景」をそのまま校名に冠しました。岩船地域と神林地域で培ってきた伝統や誇りを大切にしながら、地域を越えて一つになる新しい学校としての独自性を表現し、従来からある名称にはこだわらない校名としています。

生徒たちへの願い

「穂波」という名には、稲穂のようにしなやかに、そして波のようにたくましく育ってほしいという願いが込められています。

稲穂の如く実り多く：豊かな自然と温かな地域コミュニティの中で、日々の学びを積み重ね、多様な価値観に触れながら、一人ひとりが豊かな人生の実りを結べるように。

大海原へ漕ぎ出す波のように：刻々と変化する時代の中でも、形を変える波のように柔軟に対応し、変化を恐れず、自らの個性を発揮して力強く未来を切り拓いていけるように。

5. 作成要領

- ・独自性があり、類似する校章・意匠等がなく（他の著作権等に抵触しない）、未発表のものを応募してください。
- ・単色、カラーは問いませんが、モノクロでの使用や拡大縮小してもイメージや安定感が損なわれず使用できるようにしてください。
- ・グラデーション・ぼかし・陰影を使用しないでください。

【電子データで作成する場合】

- ・ ファイル形式は PDF、JPEG、PNG のいずれかとします。
- ・ 解像度は 300dpi 以上を推奨します。
- ・ 作品の電子データと応募用紙を合わせた添付ファイルの合計サイズは 5MB 以内としてください。

【手書きで作成する場合】

- ・ 応募用紙の枠の中にできるだけ大きく書いてください。
- ・ 説明や注釈等は校章デザインの周りに記入せず、所定の欄に記入してください。

6. 応募方法

以下のいずれかの方法で応募してください。

① メールによる応募

k.gakko@city.murakami.lg.jp

② 郵送による応募

応募用紙（市ホームページから印刷、またはチラシの応募用紙を使用）に必要事項を記入し、下記の住所に郵送してください。（当日消印有効）※郵送料はご負担ください。

〒959-3449 村上市岩船駅前63番地 村上市教育委員会 神林教育事務所 内
岩船中学校・神林中学校統合推進委員会事務局 宛

③ 持参による応募

上記②に記載の住所までお持ちください。受付時間 8:30～17:15(土日祝日を除く)

※応募にあたっては作成要領や注意事項などをよく確認いただき、ご承諾のうえ応募してください。

7. 注意事項

- ① 応募は、それぞれ一人1点までとします。
グループ構成員としての応募も1点に含みます。
- ② グループでの応募も可能ですが、構成員とその代表者が分かるように、余白などを利用し記入してください。
- ③ 学校など一定の組織単位で応募する場合は、代表作5点程度に絞ってください。
- ④ 応募に係る費用は、すべて応募者の負担となります。
- ⑤ 応募作品は、応募者が自ら作成（他の著作権に触れず、他の著作物や商標などの模倣でないこと）し、未発表のものとします。他の校章の募集に応募した作品は応募しないでください。
- ⑥ 応募作品は、第三者が著作権などの権利を有しているものや商標登録されているものを利用していないものとします。応募作品の著作権などに関わる問題が生じた場合は、すべて応募者の責任と負担で解決するものとします。
- ⑦ 手書きで応募された校章デザインは、デジタルデータに変換いたします。
- ⑧ 採用作品に係る著作権などの一切の権利は、村上市教育委員会に無償で帰属するものとします。
- ⑨ 採用作品は、応募者の了解を得ず、応募作品の一部を補作のうえ使用する場合があります。
- ⑩ 応募作品は返却しません。

8. 表 彰

採用候補作品には、賞状と記念品を贈呈します。

9. その他

- ・ 応募者の個人情報は本募集に関する目的以外には使用しません。
- ・ 校章を発表する際には、込めた思いなどを市ホームページ等で公表します。なお、応募者と相談し、本人の了承のもと氏名を公表させていただく予定です。

10. 問い合わせ先

村上市岩船駅前63番地 村上市教育委員会 神林教育事務所 内
岩船中学校・神林中学校統合推進委員会事務局

☎ 0254-60-1500 ✉ k.gakko@city.murakami.lg.jp

参考資料

1. 統合中学校の名称

新潟県村上市立穂波中学校

2. 統合中学校の所在地

新潟県村上市有明1380番地



※現在の村上市立神林中学校の校舎を利用します。

3. 学校名の由来

「岩船中学校」と「神林中学校」の統合により誕生する「穂波（ほなみ）中学校」は、岩船と神林両地域の誇りである情景を象徴するとともに、そこで学ぶ生徒たちの未来への願いが込められています。

「穂」 秋になると神林地域一面に広がる、黄金色に輝く豊かな田園の稲穂

「波」 夕日にきらめき、岩船の港や海岸線に打ち寄せる日本海の波

村上市民憲章にも「稲穂わたる風」「夕日きらめく波」と綴られているように、私たちが誇りとする「ふるさとの情景」をそのまま校名に冠しました。

岩船地域と神林地域で培ってきた伝統や誇りを大切にしながら、地域を越えて一つになる新しい学校としての独自性を表現し、従来からある名称にはこだわらない校名としています。

4. 生徒たちへの願い

「穂波」という名には、稲穂のようにしなやかに、そして波のようにたくましく育ってほしいという願いが込められています。

稲穂の如く実り多く： 豊かな自然と温かな地域コミュニティの中で、日々の学びを積み重ね、多様な価値観に触れながら、一人ひとりが豊かな人生の実りを結べるように。

大海原へ漕ぎ出す波のように： 刻々と変化する時代の中でも、形を変える波のように柔軟に対応し、変化を恐れず、自らの個性を発揮して力強く未来を切り拓いていけるように。

5. 統合中学校の教育目標・教育目標に込めた思い

『ねばり強く 「思う 学ぶ 挑む」』

A I の発展により快適・便利になる一方で、生徒には困難に直面した際に諦めず、粘り強く努力する「たくましさ」が求められています。統合中学校では、この「たくましさ」を育むため、「ねばり強く」という言葉に「粘る」と「根張る」の意味を込めています。

また、生徒に望む姿、身に付けてほしい「生きる力」の要素である「知、徳、体」を「学ぶ、思う、挑む」という言葉で表現し、その順序を「思う 学ぶ、挑む」としました。他者への思いやりと自己肯定感に基づく「思う」、探求心と向上心を持って知識や人間性を磨く「学ぶ」、心身の健康と困難への対応力を基盤に将来へ努力する「挑む」。両校で目指す方向と取り組んできたことを元に再構築したものとなっています。

6. 「岩船中学校」「神林中学校」の校歌・校章

別添「岩船・神林地域内の小・中学校の校歌・校章」を参照してください。

岩船・神林地域内の小・中学校の校歌・校章

○統合する学校

岩船中学校

【校歌】

一
鷲が巢山を仰ぎつつ
雄々しく立ちし学び舎は
群れ生く松にかこまれて
真砂の丘にすがすがと
幾世の春を重ねらん

三
教育あらたな学び舎に
睦み合いつつ育ち行く
若き我らの胸底に
萌ゆる自由の精神こそ
次の代つくる力なれ

【校章】



神林中学校

【校歌】

一
桜 木原木 松林
青空遠く 澄みわたり
清き歌声 高らかに
学びの里に こだまする
「学ぶ心 思う心 挑む心」
ふるさとの誇りを 受け継いで
今 動き出そう 今 走り出そう
手を取り合って 明日をつくろう
今 飛び立とう 今 羽ばたこう
わが 神林中学校

二
蛍 白百合 天の川
希望の風も さわやかに
豊かに流る 荒川と
稲穂の大地を 通りゆく
「学ぶ心 思う心 挑む心」
ふるさとの誇りを 受け継いで
今 動き出そう 今 走り出そう
手を取り合って 明日をつくろう
今 飛び立とう 今 羽ばたこう
わが 神林中学校

三
白鳥 大池 日本海
朝日きらめく 粉雪や
輝く夕陽 あざやかに
新たな歴史を 映し出す
「学ぶ心 思う心 挑む心」
ふるさとの誇りを 受け継いで
今 動き出そう 今 走り出そう
手を取り合って 明日をつくろう
今 飛び立とう 今 羽ばたこう
わが 神林中学校

【校章】



※その他、岩船地域・神林地域内の小学校については、次ページをご覧ください。

岩船小学校

【校 歌】

一 波路の果ても 見え分かぬ
海原通う 船のごと
舵を正しく いざわれら
めざす方へと 進みなん

二 怒涛さかまく 荒磯の
巖に根ざし 色かえず
伸びてしやまぬ 稚松の
雄々しきさまの とうときよ

三 平和の光 あきらけき
学びの窓の 朝夕に
手を取り ともに誓いつつ
正しき道を いざゆかん

【校 章】



平林小学校

【校 歌】

一 荒川つなぐ日本海と
山の歴史よ
伽護山から望める
誇りある里
元氣 あふれる
あいさつひびく
学ぼうよ 励もうよ
ともにひらこう

二 松風かおる校舎
木の温もりよ
砂をけたてて駆ける
広きグラウンド
笑顔 明るく
歌声ひびく
つくろうよ 築こうよ
ともに今から

三 波打つ稲穂みのる
金の平野よ
季節めぐり白鳥
さくら吹雪けば
未来 彩る
この若緑
たゆまず 進もうよ
ともに理想を
平林の誉れ ここにあり

【校 章】



神納小学校

【校 歌】

一 新しい朝 風さわやかに
早苗の緑 輝いて
みんなのふるさと 大きいよ
君とぼくらの たくましく
心の翼 広げよう
ラ、ラ、ラ、神納
われらの神納小

二 白鳥の空 みのりの大地
満点の星 胸に受け
みんなのふるさと 優しいよ
君とぼくらの はずむ声
学ぶ楽しさ 肩組もう
ラ、ラ、ラ、神納
われらの神納小

三 冬から春へ 夏から秋も
木原木山に 誓う夢
みんなのふるさと 希望だよ
君とぼくらの 明日に向け
今日の歩みを 讃えよう
ラ、ラ、ラ、神納
われらの神納小

【校 章】

